

2019年2月26日  
凸版印刷株式会社

凸版印刷、トッパングループ全体の温室効果ガス削減目標が  
国際的イニシアチブ SBT (Science Based Targets) に認定  
パリ協定「2°C目標」達成に向けて2030年までの温室効果ガス削減目標を設定

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、環境保全活動の基本理念として「トッパングループ地球環境宣言」を定め、グループ全体で持続可能な社会の実現を目指し、地球温暖化防止をはじめとした環境保全の取り組みを行っています。

このたび、凸版印刷がトッパングループ全体で設定した2030年までの温室効果ガス削減目標が、国際的な環境団体「SBT (Science Based Targets) <sup>※1</sup>イニシアチブ」の認定を取得しました。

「SBT」とは、産業革命時比の気温上昇を2°C未満に抑える温暖化対策の国際ルール「パリ協定」達成のために、企業が科学的根拠に基づいた中長期の温室効果ガス削減目標を設定する取り組みです。

今回、凸版印刷はトッパングループ全体での温室効果ガス削減目標を Scope1(自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出)+Scope2(自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出)で2030年までに2017年比で30%削減、Scope3(サプライチェーンを含む事業活動におけるその他の間接排出)で2030年までに2017年比で20%削減に設定しました。事業所や工場におけるエネルギー使用の合理化、持続可能な資源の利用、廃棄物排出量の削減など、目標達成のための取り組みをサプライチェーン全体で推進していきます。

凸版印刷は SBT の認定を受け今後2030年までの中長期環境目標を新たに設定し、グループ全体で温室効果ガス削減への取り組みを一層強化し、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。



## ■ 凸版印刷のサステナビリティの取り組み

凸版印刷は、「健康・ライフサイエンス」「教育・文化交流」「都市空間・モビリティ」「エネルギー・食糧資源」を新たな成長領域と位置づけ、社会的課題を認識し、その解決に向けて取り組んでいます。凸版印刷はサステナビリティ活動を、「国連グローバル・コンパクト」を活動の原則に、また組織の社会的責任に関する国際規格「ISO26000」を活動の指針として、さらには「SDGs(持続可能な開発目標)」を活動の目標として取り入れて、ステークホルダーとともに、社会的価値創造企業になることを目指し、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。

※1 SBT:国連グローバル・コンパクト、CDP、WRI(世界資源研究所)、WWFにより設立された共同イニシアチブ。パリ協定の2°C目標に整合した企業の野心的な目標を認定。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上